

# 不登校対策支援プラン

更新日 4 月 1 日

## プランの策定にあたって

県内において不登校児童生徒数は増加傾向にある中、不登校対策では、対象や課題性に基づいた取組が求められています。全ての児童生徒を対象とした取組や不登校の予兆が見られる児童生徒への支援、欠席が継続している児童生徒への支援を組織的かつ計画的に行うことが必要です。

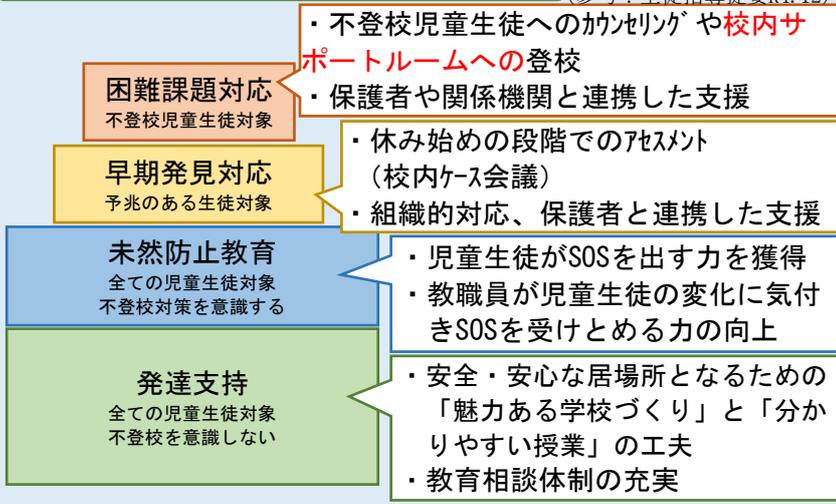
本校では、実態を把握し、以下の目標や取組を設定し、教職員が一丸となり対策を進めることで、誰一人取り残すことのない、持続可能な不登校対策や支援を行います。

## 不登校対策の目標

- 1 不登校傾向のある児童を受け入れる多様な環境づくりと組織的な働きかけ。
- 2 スクールカウンセラーとの協働体制による支援。

## 不登校対策における重層的支援構造

(参考：生徒指導提要R4.12)



## 不登校対策チーム構成

校長・教頭・主幹教諭・生活指導担当・養護教諭・スクールカウンセラー (SC)・スクールソーシャルワーカー (SSW)・担任等

## 不登校児童生徒支援関係機関等

青少年育成センター・市教育支援センター「さつき学級」、市サポートチーム (相談員、SSW)、子ども食堂

## 4つの層での取組 等

### 発達支持

- ・ 児童理解をもとにした居場所づくり
- ・ 互いを認め合い支えあえる人間関係づくり
- ・ アンケートツール「CoCoLo-34」「CoCoLo-J」の活用

### 未然防止教育

- ・ 社会的スキルの習得をめざす工夫 (ガイダンス・SST)

### 早期発見対応

- ・ 児童アンケート (年3回)、アンケートツール「CoCoLo-34」「CoCoLo-J」の活用、行動観察と情報共有、児童との対話による早期発見

### 困難課題対応

- ・ 保健室、パワーアップ教室と連携した「さわやかルーム」の運営。
- ・ スクールカウンセラーと連携した相談・支援体制の確立